

口腔外セントラルサクション

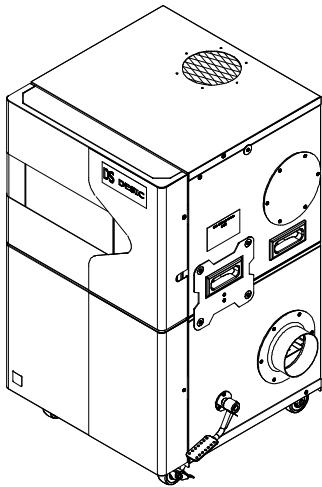
口腔外吸引器 TCS-DESIC  
TCS-DESIC-DS  
TCS-DESIC-DW

# 取扱説明書

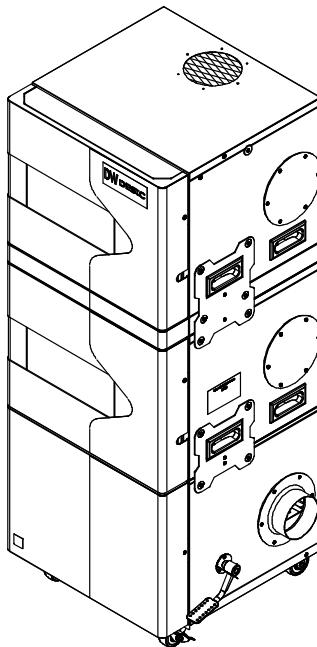
医療機器認証番号

304AHBZX00008000

安全にお使いいただくために必ずお読みください。



型式：TCS-DESIC-DS



型式：TCS-DESIC-DW

このたびは、『口腔外吸引器 TCS-DESIC』をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この取扱説明書の⚠️ 警告、⚠️ 禁忌・禁止、⚠️ 注意をよくお読みいただき正しくご使用ください。
- この取扱説明書は、いつでも使用できるように大切に保管し、わからない時は再読してください。
- 電子添文（添付文書）は製品に貼付している銘板のGS1 バーコードを添付文書閲覧アプリ（添文ナビ）にて読み込みご確認ください。  
添文ナビは右の「添文ナビ」QRコードよりご参照ください。  
※銘板の貼付場所は取扱説明書の各部名称のページでご確認ください。



添文ナビ

正しく使って効率アップ

株式会社 東京技研

# 目次

■機器の表示記号	3
■安全上のご注意	3～4
■医療用電気機器の安全および危険防止のための使用上の注意事項	5
■輸送及び保管に関する環境条件について	6
■電磁適合性について	6
■廃棄について(環境保護)	6
■概要	6
■梱包内容	7
■各部名称	8～10
■設置条件	11
■取付方法	12
■使用方法	12
■清掃方法(切削粉塵の取り出し方法)	12～13
■着脱可能な部品(消耗品)	14
■着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)	
○バッグフィルタ	14～15
○スーパーバイオフィルタ	16～17
■日常点検・定期点検	18
■仕様	19～20
■アフターサービス	20
■技術情報	21～23
■フットペダル左右付け替え方法	24～25

## 機器の表示記号

機器に表示されているマークについて、下記を参照すること。

	保護接地を意味しています。
	取扱説明書または取付要領書を読むを意味します

## 安全上のご注意

本書ではお使いになる人や他の人への危害、財産の損害を未然に防止するため必ずお守りいただく内容を次のように説明しています。

- 安全に関わる注意事項を、その危険の大きさの程度によって、次のように区分して説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
 <b>禁忌・禁止</b>	「特別な事情により本医療機器を適用すべきでない患者についての情報」、「使用目的や適応患者等、製造販売業者の責任範囲を超える不適切な使用方法」、「併用してはならない医療機器」を示しています。
 <b>注意</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると「使用者が傷害を負う可能性が想定される内容や物的損害が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分して説明しています。

	してはいけない禁止事項を示しています。
	必ず実行していただく強制・指示事項を示しています。

## ⚠ 禁忌・禁止



- ・義歯などのチタン材料、有機溶剤（レジン液、アルコールなど）を吸引しないこと。  
【チタン材料又は有機溶剤により火災等を引き起こす可能性があるため。】
- ・液体を吸引しないこと。【感電を引き起こす可能性があるため。】

## ⚠ 注意



- ・口腔外サクションの目的以外には使用しないこと。
- ・当社指定以外の製品、部品を使用しないこと。
- ・大きな衝撃を加えないこと。
- ・専門の業者以外は、本装置の取り付け・据え付けを行わないこと。
- ・本装置の吸引が常時「密閉」状態で使用しないこと。
- ・短期間でのON・OFFの繰り返し運転を行わないこと。
- ・異常・故障時には直ちに使用を中止すること。
- ・機器の改造はしないこと。
- ・本書および取付要領書に記載の箇所以外のドライバーおよび工具を使用しての「分解」はしないこと。
- ・不具合状態で使用しないこと。
- ・未整備状態での使用はしないこと。（未整備状態とは、定期点検や日常点検を行っていない状態）
- ・濡れた手で設備側の電源のON・OFFは行わないこと。



- ・運転中及び停止後は、外装が熱くなっている為、注意すること。
- ・清掃は設備側の電源をOFFにしてから作業すること。
- ・傾斜の無い場所で使用すること。

下記の原因により生じた故障・損傷につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- ①当社または当社の指定した業者（専門家）以外による改造・保守及び修理。
- ②当社が納入した製品以外の他社製品が原因で、当社の製品が受けた故障・損傷。
- ③当社指定の純正部品以外の補修部品の使用による改造・保守・修理。
- ④本取扱説明書に記載されている注意事項や操作方法を守らなかった場合。
- ⑤本取扱説明書に記載されている電源・設置環境など、本装置の使用条件を逸脱した周囲条件による場合。
- ⑥火災・天災（地震・水害・落雷等）の場合。

# 医療用電気機器の安全及び危険防止の為の使用上の注意事項

1. 歯科医師及びスタッフ以外は機器を使用しないこと。また、関係者以外が機器に触れないように監視すること。
2. 機器を設置するときには、次の事項に注意すること。
  - ①水のかからない場所に設置すること。
  - ②気圧、温度、湿度、風通し、日光、埃、塩分、硫黄分などを含んだ空気などにより、悪影響の生ずるおそれのない場所に設置すること。
  - ③傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。
  - ④化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に設置しないこと。
  - ⑤電源の周波数と電圧及び許容電流値（または消費電力）に注意すること。
  - ⑥アースを正しく接続すること。
- ⑦電源は配線規則に従って遮断手段を固定配線に設けるためサクション専用の三相交流 200V のブレーカに接続すること。ブレーカの容量は以下を参照すること。接続の際は結線図を確認すること。
  - 型式 TCS-DESC-DS
    - ・ 0.75kW 設定 : ブレーカ 10A
    - ・ 1.5kW 設定 : ブレーカ 15A
  - 型式 TCS-DESC-DW
    - ・ 0.75kW 設定 × 2 : ブレーカ 10A × 2
- ⑧設置場所には室温が 5°C から 40°C、相対湿度が 20% から 90%（非結露）になるように設置を行うこと。設置する部屋と外気の換気量は以下を参照すること。
  - 型式 TCS-DESC-DS
    - ・ 0.75kW 設定 : 0.5m³/min 以上
    - ・ 1.5kW 設定 : 1.0m³/min 以上
  - 型式 TCS-DESC-DW
    - ・ 0.75kW 設定 × 2 : 1.0m³/min 以上
3. 機器を使用する前に次の事項に注意すること。
  - ①アースが完全に接続されていることを確認すること。
  - ②コードの接続が正確でかつ安全に接続されていることを確認すること。
4. 機器の使用中は次の事項に注意すること。
  - ①機器全般に異常のないことを絶えず監視すること（チタン材料、有機溶剤を吸引しないこと）。
  - ②機器に異常が発見された場合には機器の動作を止めるなど、適切な措置を講ずること。
  - ③機器に患者が触れることがないよう注意すること。
  - ④短時間での ON・OFF の繰り返し運転を行わないこと。
5. 機器の使用後は次の事項に注意すること。
  - ①定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、設備側の電源を OFF にすること。
  - ②コード類の取り外しに際しては、コードを持って引き抜くなど無理な力をかけないこと。
6. 故障した時は勝手にいじらず適切な処置を行い、修理は当社または当社の指定した業者（専門家）に任せること。  
電源コードが破損した場合も、コードの交換は危険を防止するために修理は当社または当社の指定した業者（専門家）に任せること。
7. 機器は改造しないこと。
8. 異常音がする場合は使用しないこと。
9. 保守点検
  - ①清掃方法  
本取扱説明書 P. 12~13 【清掃方法(切削粉塵の取り出し方法)】を参照。
  - ②しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動する事を確認すること。
  - ③使用中に異常が感じられた場合は、設備側の電源を OFF にし、購入先又は当社まで連絡すること。
  - ④消耗品の交換  
本取扱説明書 P. 14~17 【着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)】を参照。

本装置使用中に異常が感じられた場合は、設備側の電源を OFF にし、購入先又は当社まで連絡すること。

## 輸送及び保管に関する環境条件について

輸送及び保管に関しては下記の内容に注意してください。

- ①傾斜、振動、衝撃などの無いように輸送及び保管を行うこと。
- ②水がかからないように輸送及び保管を行うこと。
- ③気圧、風通し、日光、埃、鉄分、硫黄分を含んだ空気などにより、悪影響のない場所に輸送及び保管を行うこと。
- ④化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に保管しないこと。
- ⑤周囲温度範囲-10°Cから 40°C、相対湿度 20%から 90% (非結露) の範囲で輸送及び保管すること。

## 電磁適合性について（仮記載）

本装置は、医療用電気機器の電磁両立性の規格に適合しています。  
ただし、生命維持機器など、電磁障害で重大な危険性が生じる恐れのある機器は、  
本装置の近くでは使用しないこと。

EMC 適合

## 廃棄について（環境保護）

本装置、または付属品を廃棄する場合は、環境への影響を制御するために、医療機関において感染症廃棄物と  
非感染症廃棄物に区分し、適切な許可を有する処理業者に処理を委託すること。

## 概要

本装置は、歯科口腔外用サクションです。

歯科治療中に口腔外に飛散する飛沫等を吸引除去を目的とします。

吸引されたものはバッグフィルタにて捕集されダストボックスに集塵されます。

排気に関しては、「スーパーバイオフィルタ」により  $0.3\text{ }\mu\text{m}$  以上の粉塵を 99.97%以上捕集してから排気を行います。

別売のフリーアーム（歯科用吸引装置）と配管接続して使用します。

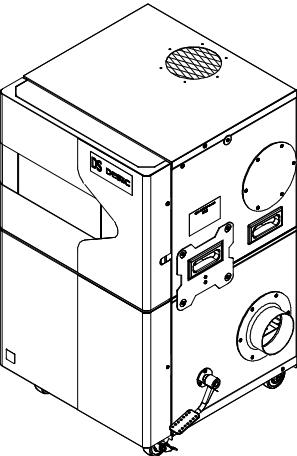
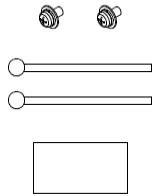
回転数を調整することで、吸引性能を調整することができます。

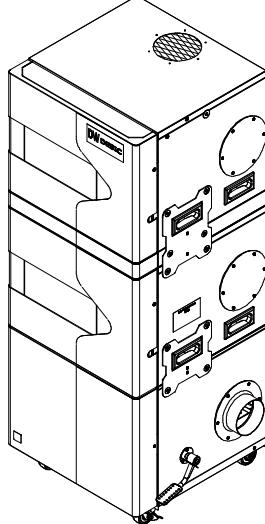
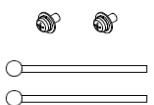
本製品は回転数を調整することで最大同時使用口数を 5 口まで調整可能な型式 TCS-DESIC-DS と最大同時使用口数 3 口で  
高い吸引圧力の型式 TCS-DESIC-DW の 2 種類があります。

## 梱包内容

開封後、下記内容が揃っていることを必ず最初に確認してください。  
本製品は型式 TCS-DESIC-DS と型式 TCS-DESIC-DW の 2 種類があります。  
型式を確認して、梱包内容を確認してください。

### ◆梱包内容

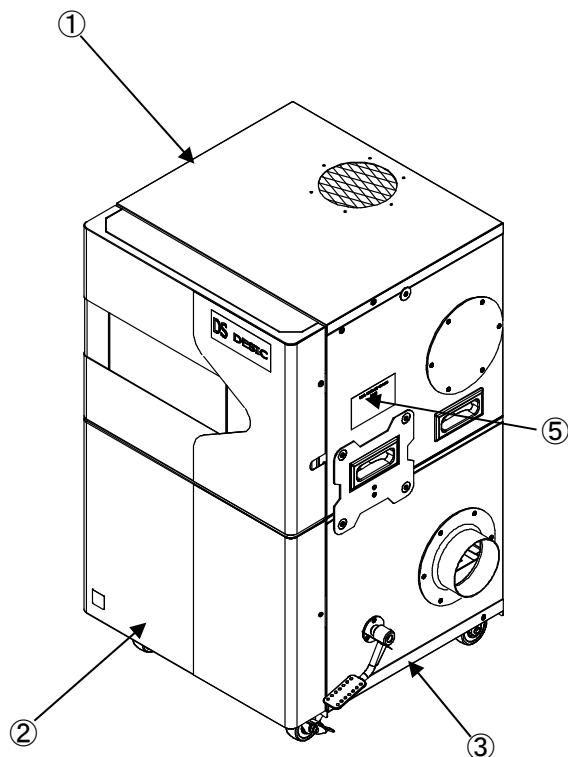
OTCS-DESIC-DS		
		
DS 本体	取扱説明書(本書)	M4×12 2ヶ 結束バンド 2ヶ 設定情報銘板 1ヶ
保証登録用紙		

OTCS-DESIC-DW		
		
DW 本体	取扱説明書(本書)	M4×12 2ヶ 結束バンド 2ヶ
保証登録用紙		

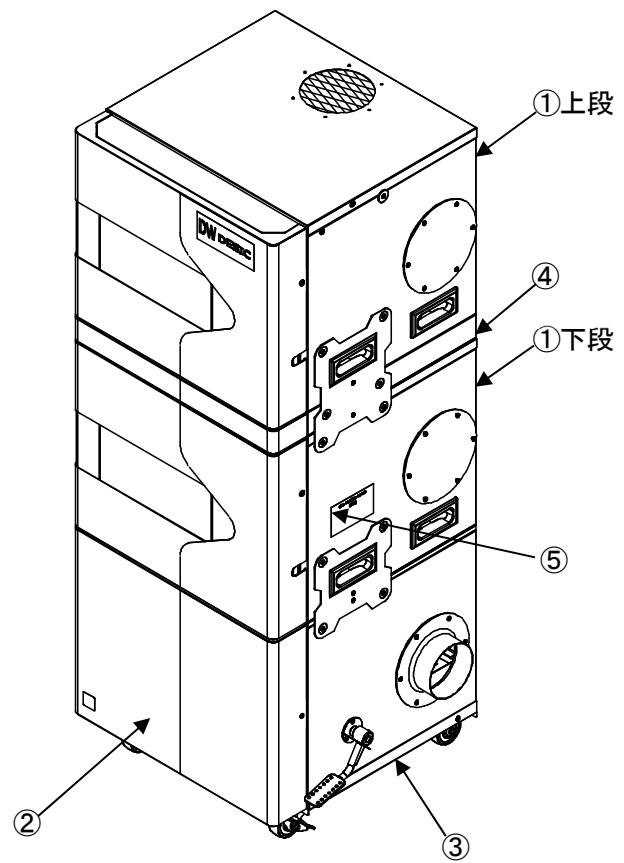
# 各部名称

## ◆全体概要

OTCS-DESIC-DS



OTCS-DESIC-DW

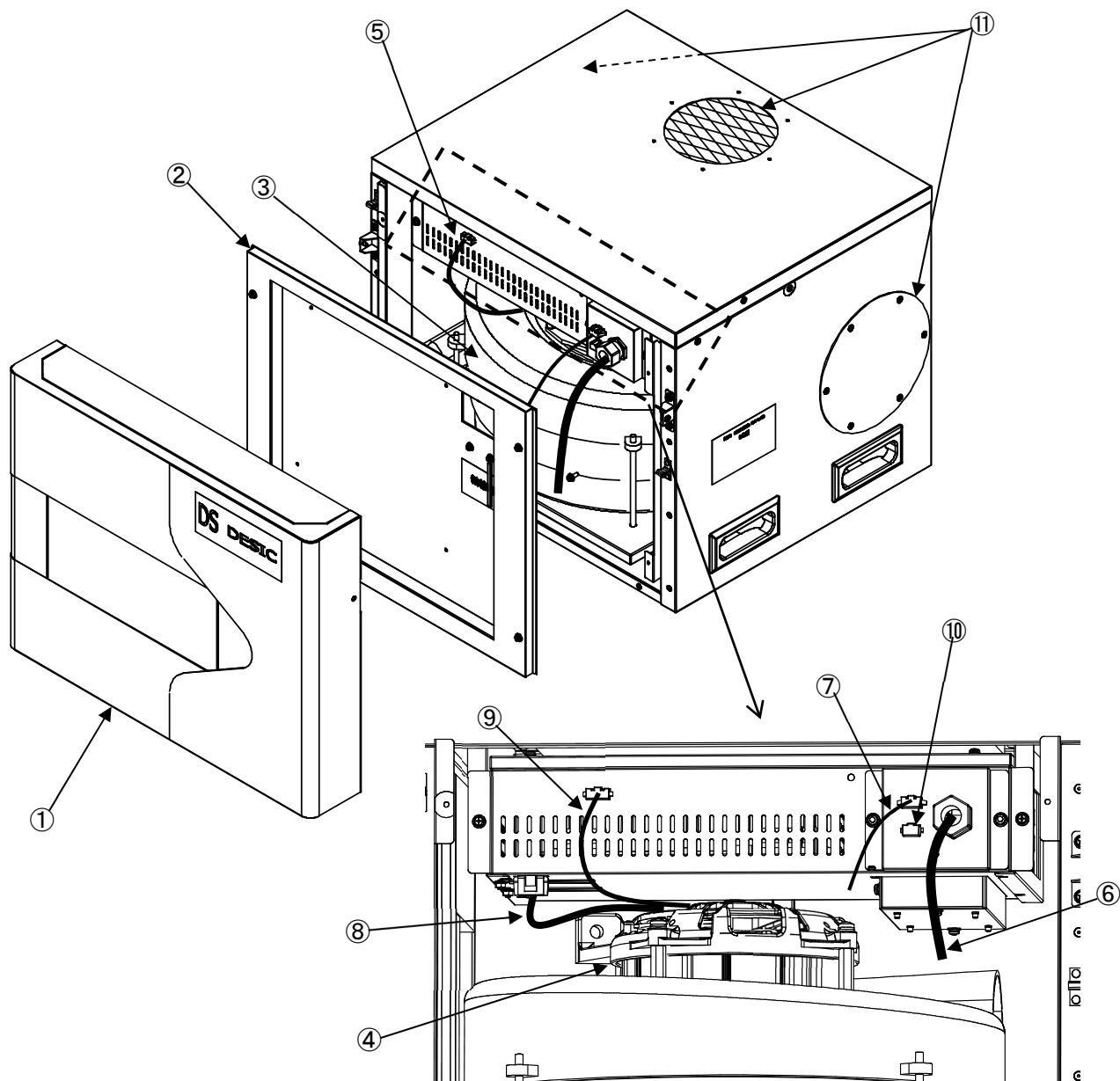


	名 称	備 考
①	プロワボックス	本取扱説明書 P. 9 に詳細を記載
②	フィルタボックス	本取扱説明書 P. 10 に詳細を記載
③	キャスターベース	
④	エアーポール	
⑤	銘板	

# 各部名称

## ◆詳細

### ○プロワボックス

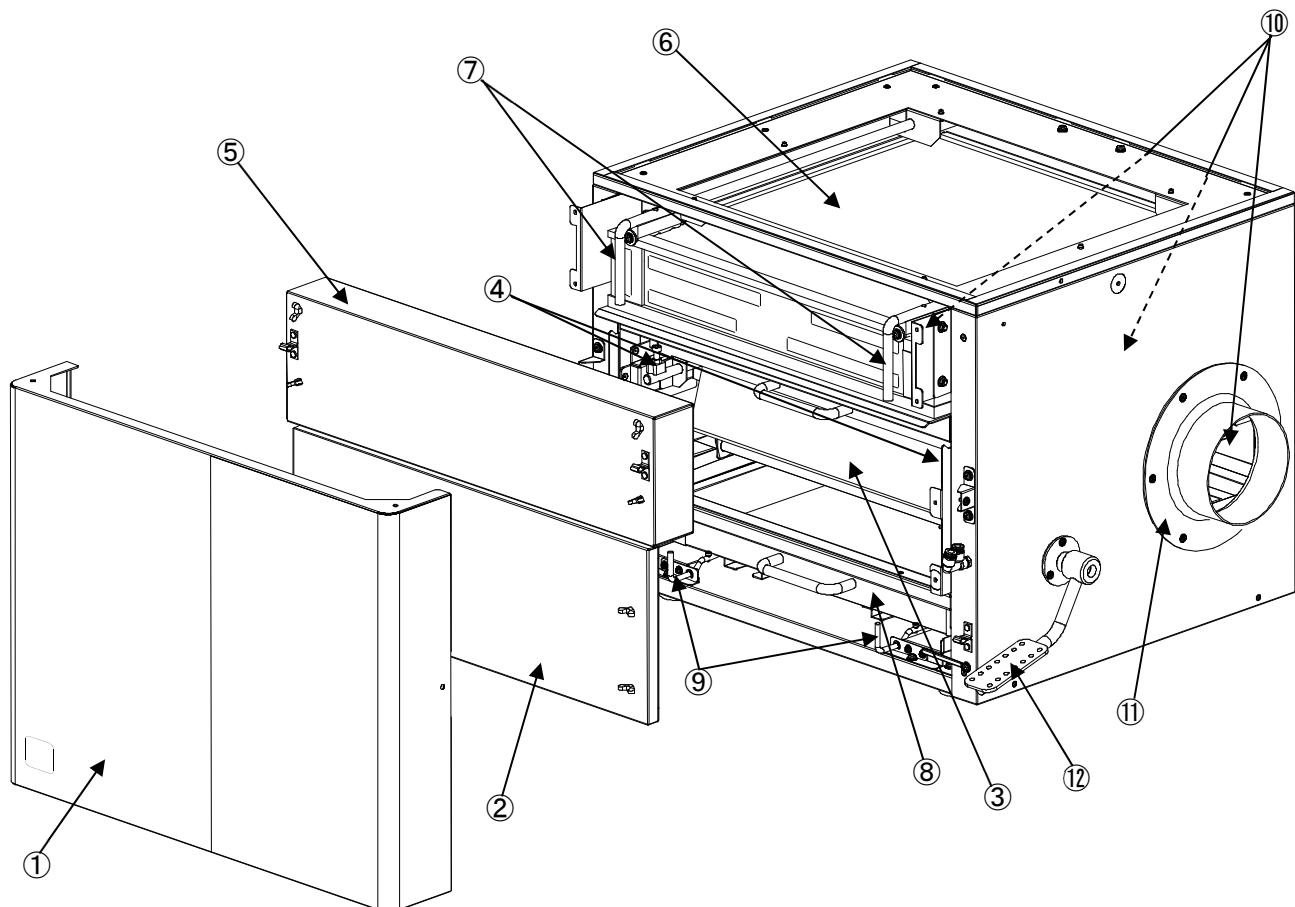


番号	名 称	備 考
①	プロワボックス外カバー	
②	プロワボックス内カバー	結線図貼付
③	プロワ部	
④	モータ	
⑤	電装ボックス	内部にボリューム有
⑥	電源コード	電源は三相交流 200V に接続
⑦	操作線	操作線はフリーアーム側に接続
⑧	モータ電源コード	
⑨	モータ信号線	
⑩	回転数外部入力	
⑪	排気口	両サイド、天板に有り（出荷時は、正面向かって左および天板が開放） 必ず1つ以上開放 ※DWの下段は天板側以外密閉

# 各部名称

## ◆詳細

### ○フィルタボックス



番号	名 称	備 考
①	フィルタボックスカバー	
②	バッグフィルタカバー	
③	バッグフィルタ	フィルタのメッシュ : 0.15mm
④	バッグフィルタ固定軸	バッグフィルタの交換の際に操作（両サイドに有り）
⑤	スーパーバイオフィルタカバー	
⑥	スーパーバイオフィルタ	
⑦	スーパーバイオフィルタ固定軸	スーパーバイオフィルタの交換の際に操作（両サイドに有り）
⑧	ダストボックス	粉塵が溜まるため定期清掃（P. 12～13 を参照）
⑨	ダストボックス固定軸	ダストボックス取外しの際に操作（両サイドに有り）
⑩	吸引口	両サイド、背面に有り
⑪	吸引口フランジ	DS100 に接続（オプションにて DS125 に対応）
⑫	フットペダル	バッグフィルタに付着した粉塵の脱塵に使用

## 設置条件

### 最小設置寸法について

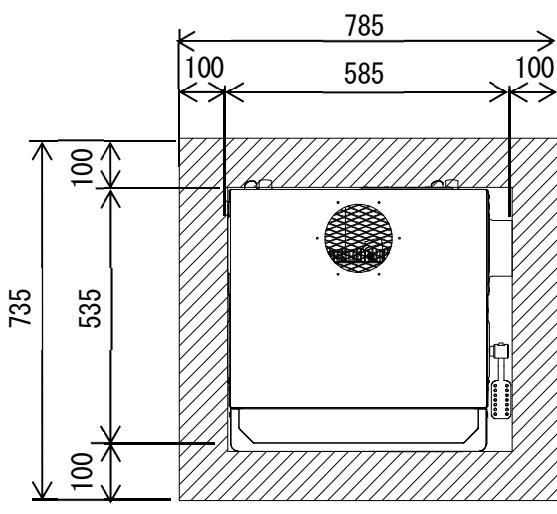
本製品は、据置型機器となります。

- ・下記の図の吸排気のための最小設置寸法を参考に設置場所を決定してください。

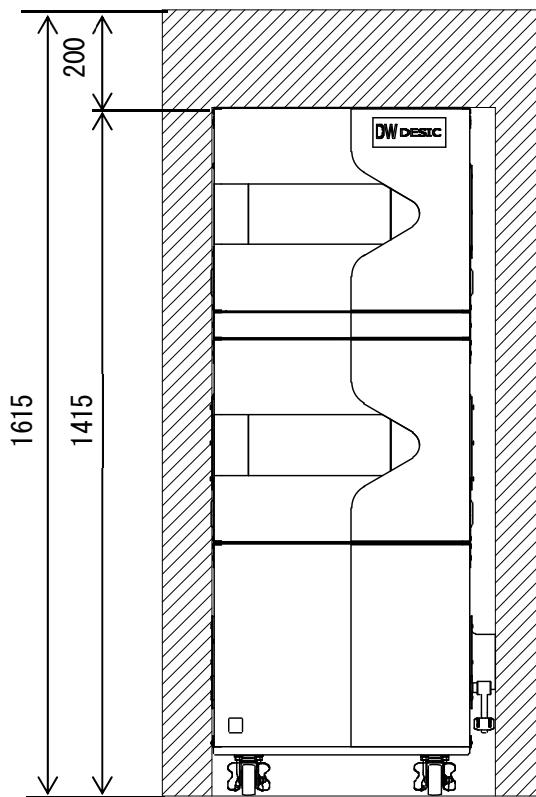
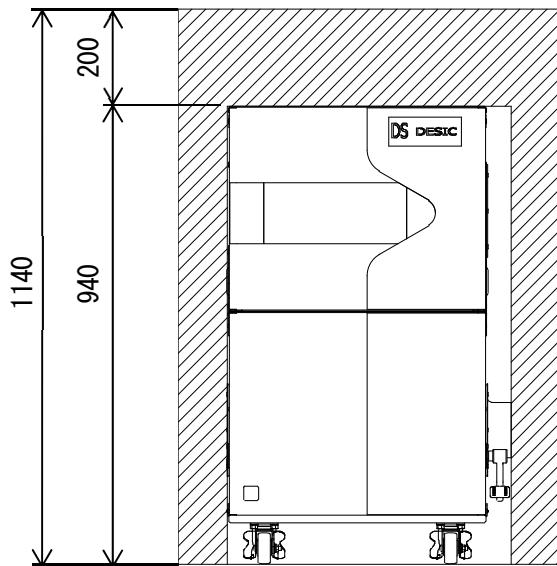
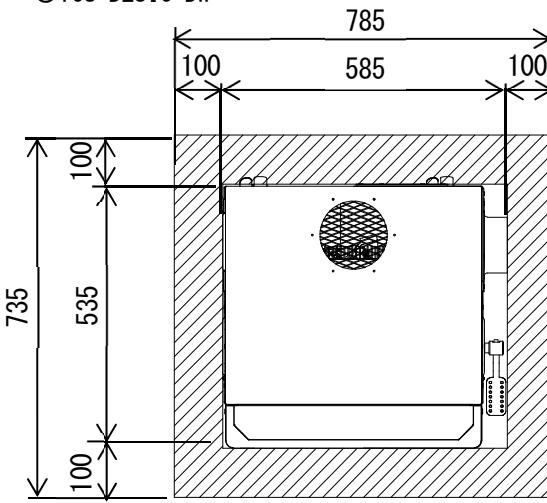
※本装置は吸排気のためのスペースに加えて、清掃や消耗品交換のスペースが必要になります。

全面のパネルから345mmのスペースを空けて、メンテナンスができるように設置してください。

○TCS-DESIC-DS



○TCS-DESIC-DW



単位:mm

### 必要換気量について

- ・本装置を設置する際は、本装置1台に対して設置する部屋と外気の換気量が以下となるように換気扇をご用意ください。

○型式 TCS-DESIC-DS

- ・0.75kW 設定 : 0.5m<sup>3</sup>/min 以上
- ・1.5kW 設定 : 1.0m<sup>3</sup>/min 以上

○型式 TCS-DESIC-DW

- ・0.75kW 設定 × 2 : 1.0m<sup>3</sup>/min 以上

## 取付方法

取付方法については、別紙の取付要領書をご参照ください。

## 使用方法

### ⚠ 注意

 禁止	・密閉状態となる運転は行わないでください。
 指示	・清掃は一日の終了後または隨時行ってください。 清掃を行わないと性能の低下や故障の原因となります。

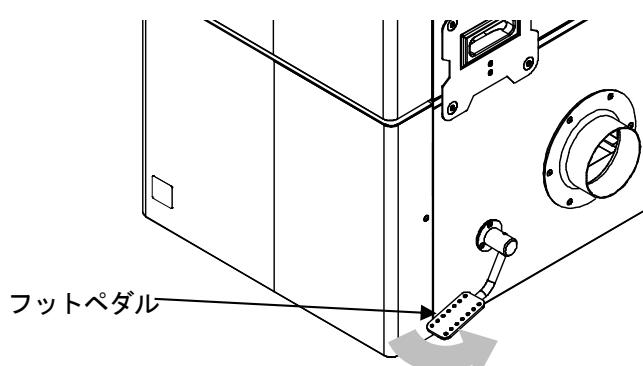
- ①設備側の電源三相交流 200V を ON にしてください。
- ②フリーアーム(別売品)のスイッチを ON にすることで本製品が ON となり吸引を開始します。
- ③フリーアーム(別売品)のスイッチを OFF にすることで本製品も OFF となり吸引を停止します。
- ④一日の診療が終わったら、P. 12~13 【清掃方法(切削粉塵の取り出し方法)】を参照し、清掃を行ってください。
- ⑤設備側の電源三相交流 200V を OFF にしてください。

## 清掃方法（切削粉塵の取り出し方法）

### ⚠ 注意

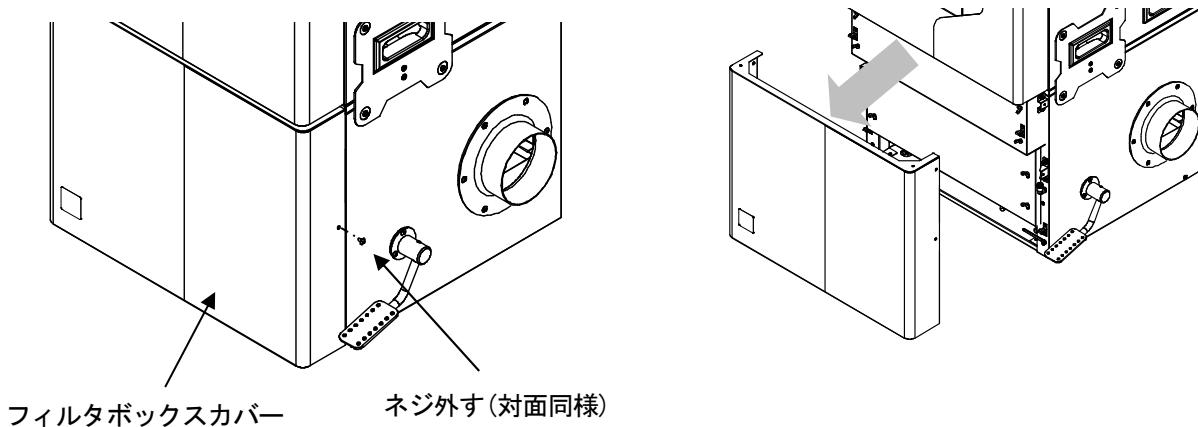
 禁止	・濡れた手で作業を行わないでください。
 指示	・感染防止のため、グローブ及びマスクを着用して作業を行ってください。

- ①フリーアーム(別売品)のスイッチを全て ON にし、約 5 分間の空運転をしてください。
- ②約 5 分後運転を停止し、設備側の電源を OFF にしてください。
- ③フットペダルを 10~20 回踏み、作動させてください。  
(バッグフィルタの表面に付着した粉塵が落ちます)

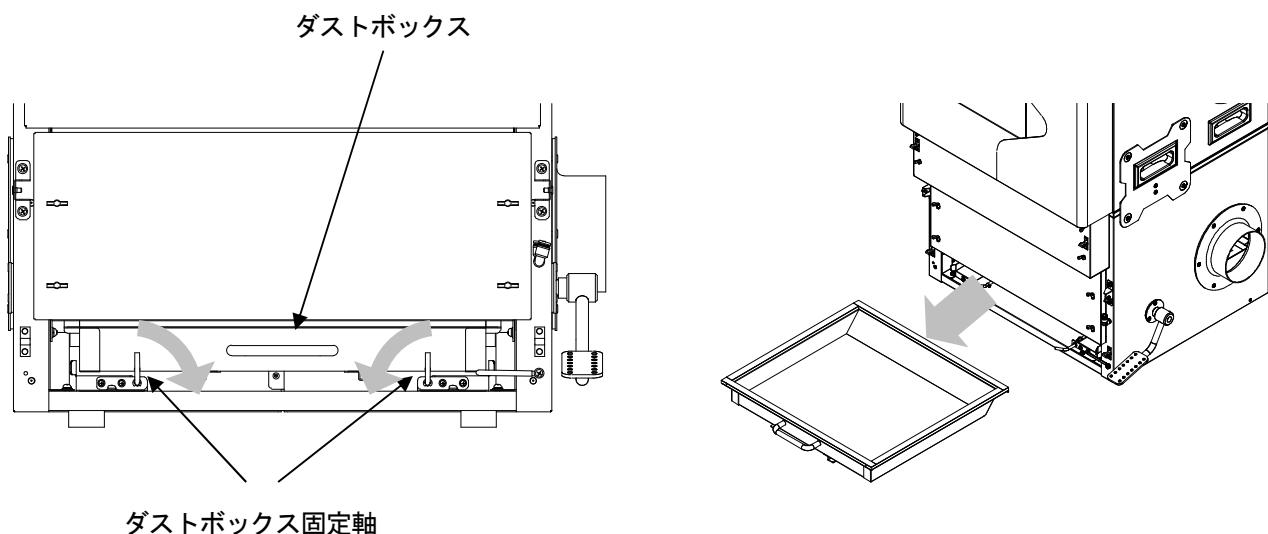


## 清掃方法（切削粉塵の取り出し方法）

④ フィルタボックスカバーの両側面のネジ2点を取り外し、フィルタボックスカバーを取り外してください。



⑤ ダストボックス固定軸を押し下げて、ダストボックスを引き出してください。



### ⚠ 注意



・ダストボックス内の粉塵がこぼれないように注意してください。

⑥ 粉塵を捨ててください。

⑦ 再度ダストボックス、フィルタボックスカバーを取り付けてください。

### ⚠ 注意



・ダストボックスを再度取り付ける際は、ダストボックス固定軸を確実に押し上げてください。  
粉塵の漏れや性能低下の原因となります。

⑧ 作業終了後、電源をONにして試運転を行い問題ないことを確認してください。

## 着脱可能な部品(消耗品)

- ・バッグフィルタ
- ・スーパーバイオフィルタ

## 着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)

### ⚠ 注意



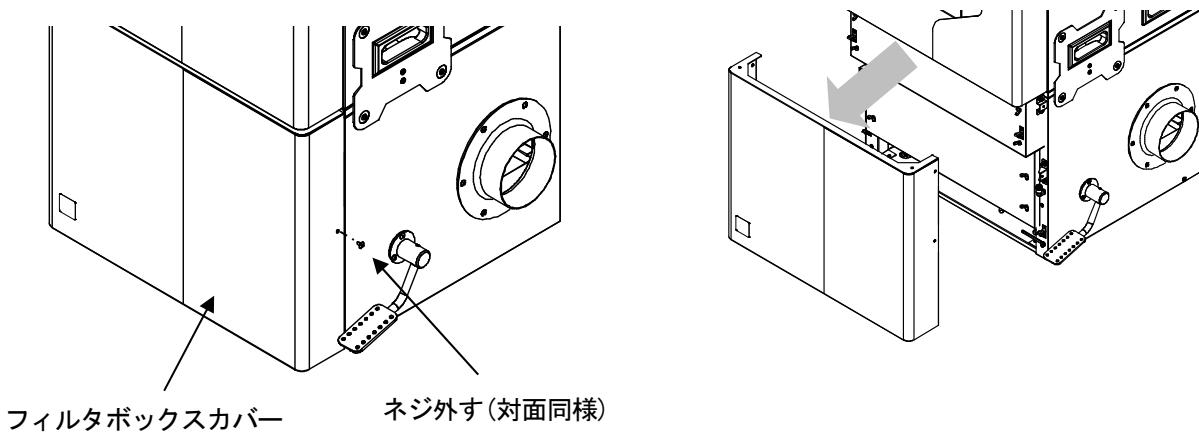
- ・感染防止のため、グローブ及びマスクを着用して作業を行ってください。

### ○バッグフィルタ

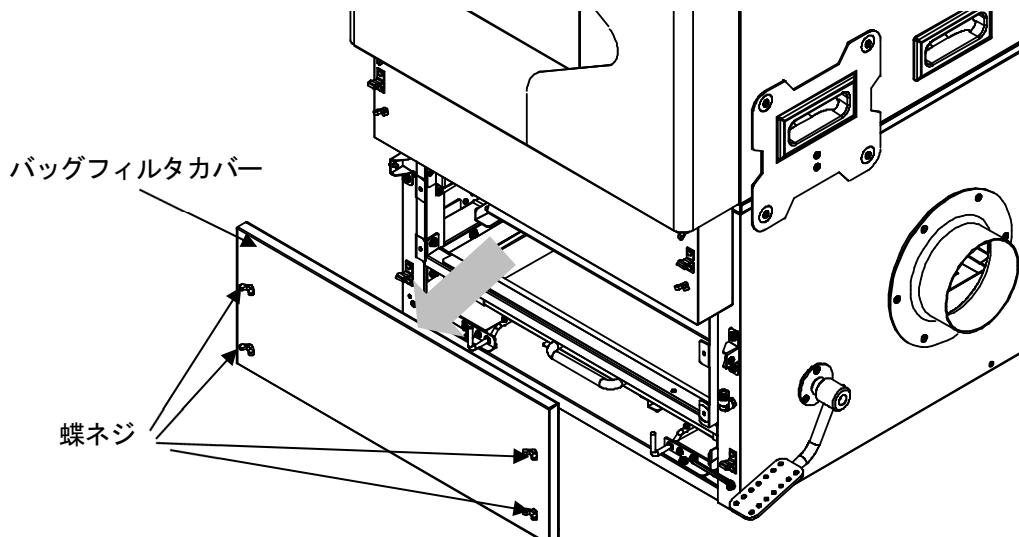
使用工具：プラスドライバー(No. 2)

①設備側の電源をOFFにしてください。

②フィルタボックスカバーの両側面のネジ2点を取り外し、フィルタボックスカバーを取り外してください。

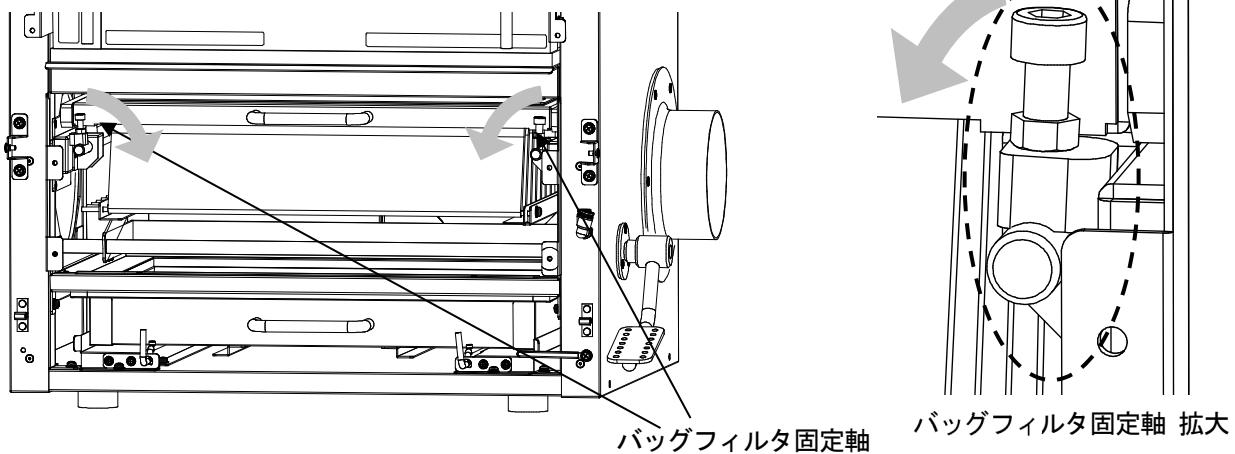


③蝶ネジ4点を回し、バッグフィルタカバーを取り外してください。

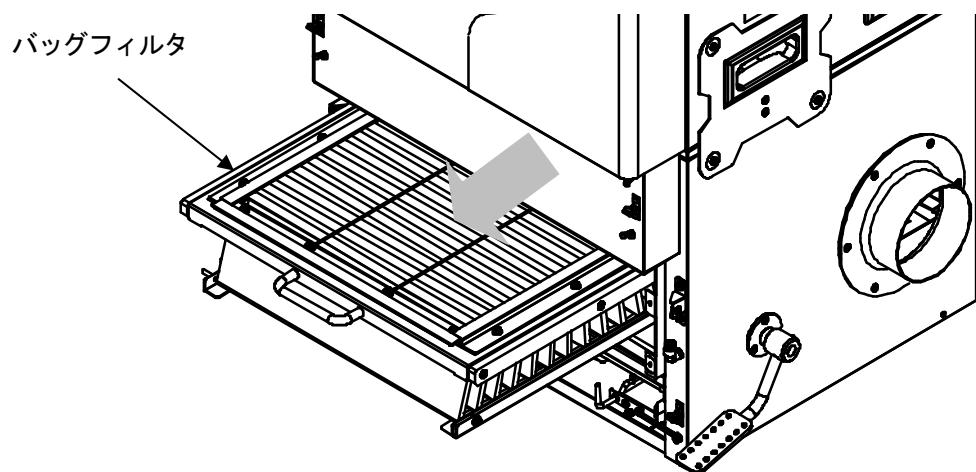


## 着脱可能な部品の着脱方法（消耗品の交換方法）

④バッグフィルタ固定軸を押し倒してください。



⑤バッグフィルタを引き出して交換してください。



⑥上記と逆の手順で元の状態に戻してください。

### ⚠ 注意



・バッグフィルタを再度取り付ける際は、バッグフィルタ固定軸を確実に押し上げてください。  
粉塵の漏れや故障の原因となります。

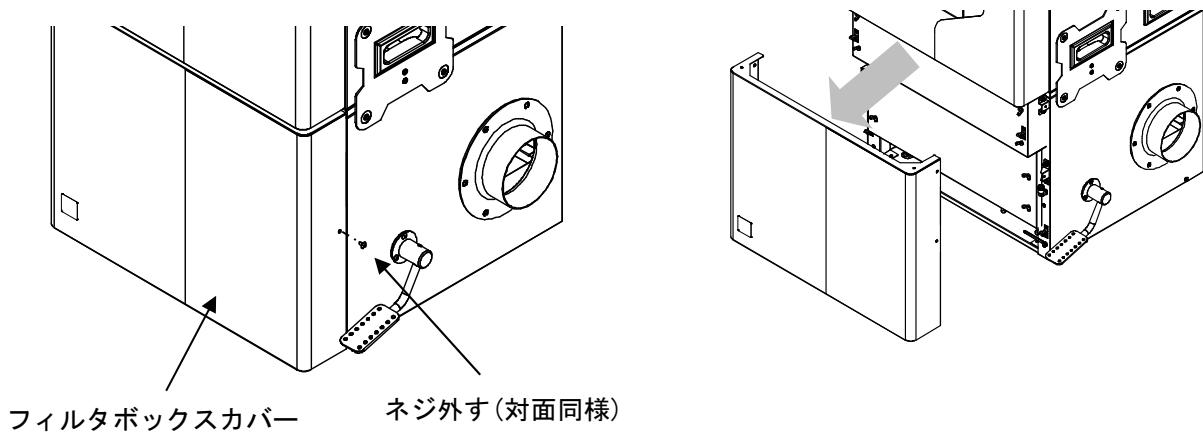
## 着脱可能な部品の着脱方法（消耗品の交換方法）

### ○スーパーバイオフィルタ

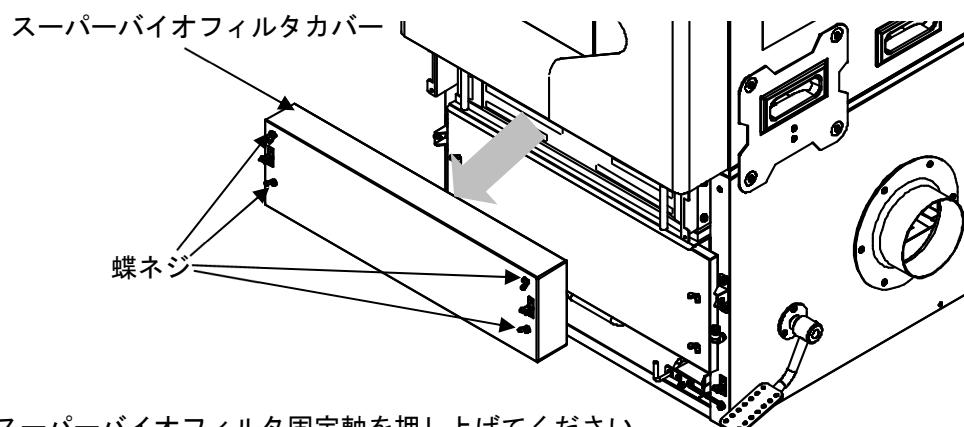
使用工具：プラスドライバー（No. 2）

①設備側の電源をOFFにしてください。

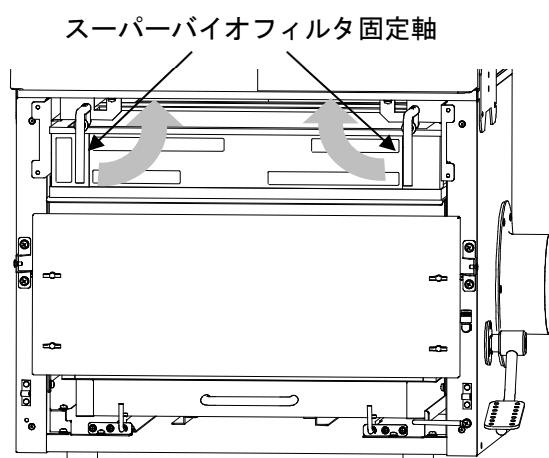
②フィルタボックスカバーの両側面のネジ2点を取り外し、フィルタボックスカバーを取り外してください。



③蝶ネジ4点を回し、スーパーバイオフィルタカバーを取り外してください。



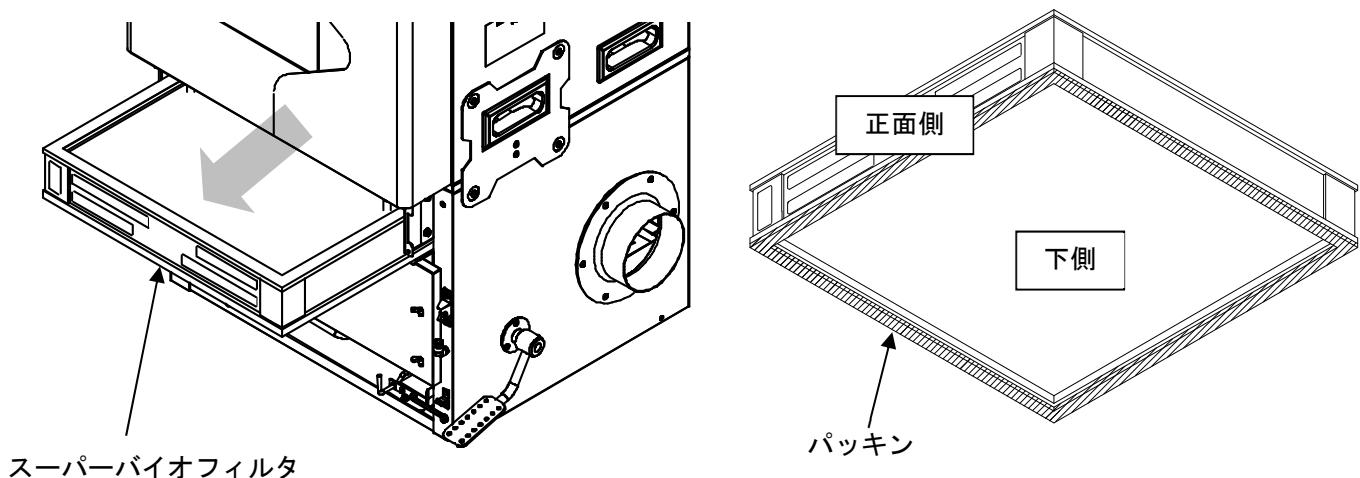
④スーパーバイオフィルタ固定軸を押し上げてください。



## 着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)

⑤スーパーバイオフィルタを引き出して交換してください。

※スーパーバイオフィルタの取り付けの際は、パッキンが下側となり、シールが正面に来るようにしてください。



⑥上記と逆の手順で元の状態に戻してください。

### ⚠ 注意



・スーパーバイオフィルタを再度取り付ける際は、スーパーバイオフィルタ固定軸を確実に押し下げてください。粉塵の漏れや故障の原因となります。

## 日常点検・定期点検

### 日常点検

始業前	装置の外観構成品に異常がないことを確認	以下の事をご確認ください。 ・異音や異臭がないこと。 ・外観に変形がないこと。 ・電源コードに亀裂や擦傷、異常な発熱がないこと。
終業後・随時	切削粉塵の取り出し	本取扱説明書の P. 12~13【清掃方法（切削粉塵の取り出し方法）】をご確認ください。

### 定期点検

3年ごと	スーパーバイオフィルタ交換	本取扱説明書の P. 16~17【着脱可能な部品の着脱方法（消耗品の交換方法）】の「スーパーバイオフィルタ」をご確認ください。
------	---------------	---

異常が感じられた場合は、設備側の電源を OFF にし、購入先又は当社までご連絡ください。

## ○TCS-DESIC-DS

	口腔外吸引器 TCS-DESIC 型式:TCS-DESIC-DS
電源電圧	三相交流 200V
最大出力※	1.5kW
最大電流	7A
周波数	50Hz/60Hz
電撃に対する保護の形式	クラス I 機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類	装着部無し
作動モード	連続
空気・可燃性麻酔ガス、または酸素または亜酸化窒素・可燃性麻酔ガスのある中での使用の安全性の程度	空気・可燃性麻酔ガス、または酸素または亜酸化窒素・可燃性麻酔ガスのある中での使用に適さない機器
風量・風圧	15m <sup>3</sup> /min の時 2.0 kPa
回転数	4000 r/min
外観寸法 W×D×H	585mm×535mm×940mm
外観寸法 W×D×H (キャスターベース無)	585mm×535mm×855mm
質量	101kg
質量 (キャスターベース無)	94kg
最大同時使用口数	5 口

測定値は、当社規定方法によるもので保証値ではございません。

仕様は予告なく変更する場合がございます。取り付け時はご確認ください。

※最大出力表示。回転数により調整可能となっており、0.75kW 設定の場合は以下参照。

出力	0.75kW
電流	4.8A
風量・風圧	9m <sup>3</sup> /min の時 2.5 kPa
回転数	3300 r/min

## ○TCS-DESCIC-DW

口腔外吸引器 TCS-DESCIC 型式:TCS-DESCIC-DW	
電源電圧	三相交流 200V
最大出力	1.5kW (0.75kW×2)
最大電流	8.4A
周波数	50Hz/60Hz
電撃に対する保護の形式	クラス I 機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類	装着部無し
作動モード	連続
空気・可燃性麻酔ガス、または酸素または亜酸化窒素・可燃性麻酔ガスのある中での使用の安全性の程度	空気・可燃性麻酔ガス、または酸素または亜酸化窒素・可燃性麻酔ガスのある中での使用に適さない機器
風量・風圧	9m <sup>3</sup> /min の時 5.0 kPa
回転数	3300 r/min
外観寸法 W×D×H	585mm×535mm×1415mm
外観寸法 W×D×H (キャスターベース無)	585mm×535mm×1330mm
質量	157kg
質量 (キャスターベース無)	150kg
最大同時使用口数	3 口

測定値は、当社規定方法によるもので保証値ではございません。

仕様は予告なく変更する場合がございます。取り付け時はご確認ください。

## アフターサービス

保証書は記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

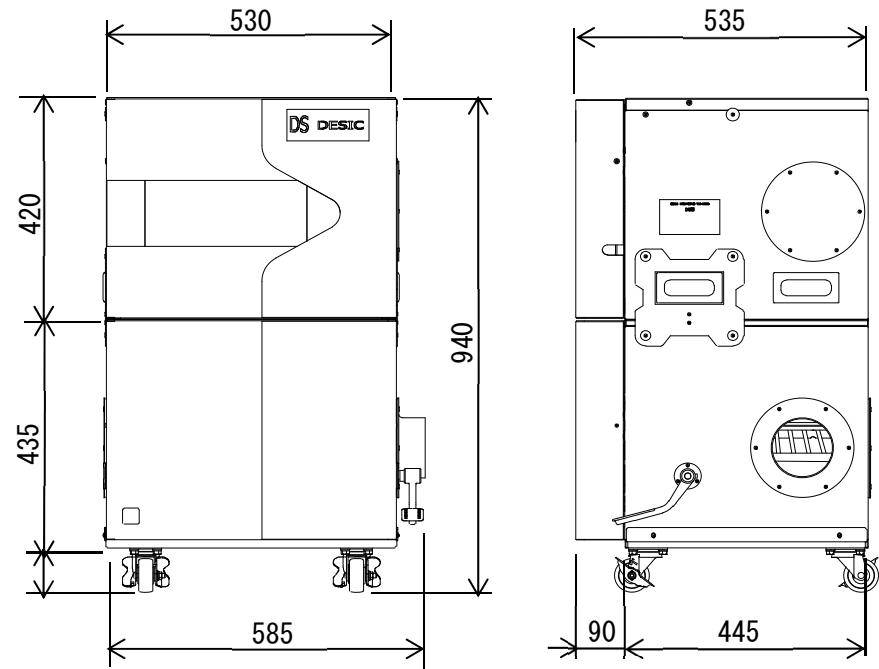
保証期間は1年間です。

保証期間中の修理は保証書の記載内容により無償修理いたします。

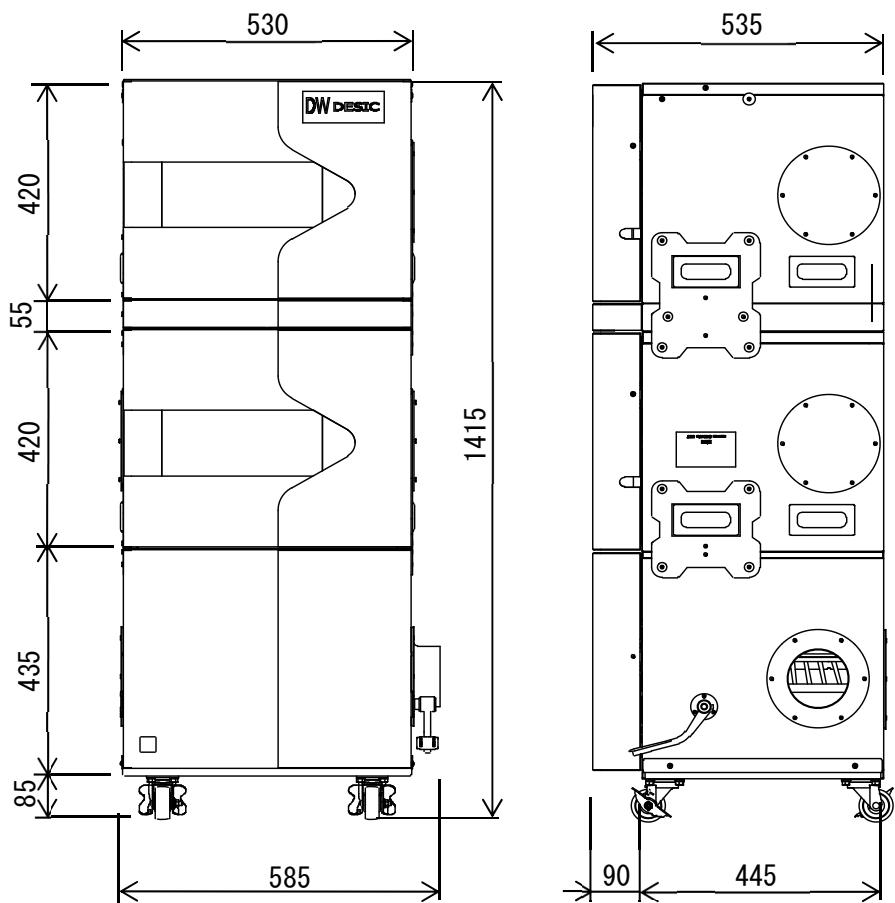
保証期間経過後の修理は、購入先または当社までご相談ください。

a) 吸引システムの各部品の外形寸法

○TCS-DESIC-DS



○TCS-DESIC-DW



※単位：mm  
寸法公差±10mm

b)該当する場合、ベースプレート及び立ち上がり部の全寸法

- ・ベースプレート

- 530×535 mm

- ・配管立ち上がり部

- φ114 (VU100 配管) または φ140 (VU125 配管)

c)配管立ち上がり部及び保持方法 (ボルトなど)、電源供給部及びその他の供給配管に関する詳細

- ・配管立ち上がり部及び保持方法

- VU100 または VU125 配管に継手や配管を接続。詳細は取付要領書を参照のこと。

- ・電源供給部

- 取扱説明書 P. 9 【各部名称】の「⑥電源コード」より供給

d)吸引システムの組立及び取り付けに関する情報

- ・電源コードを三相交流 200V に接続する。

- ・口腔外吸引器の操作線をフリーアーム側の操作線と接続する。

- ・吸引口フランジと立ち上がり配管を継手や配管を使用して接続する。

- 詳細は取付要領書を参照のこと。

e)電気的特性(電圧、周波数、ヒューズ定格)

- ・本取扱説明書の P. 19~20 【仕様】を参照。

f)吸引装置の清掃及び消毒方法、該当する場合には滅菌方法

- ・本取扱説明書の P. 12~13 【清掃方法(切削粉塵の取り出し方法)】を参照。

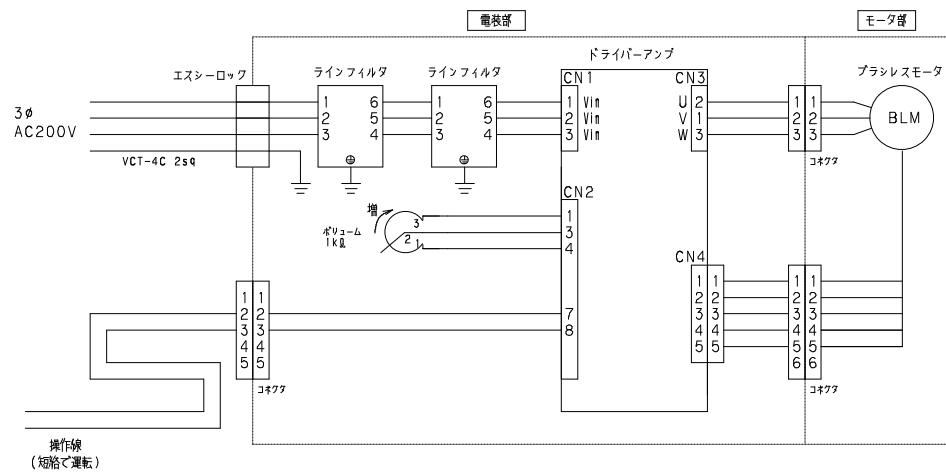
g)吸引システム専用に設計された取付品

- ・該当せず

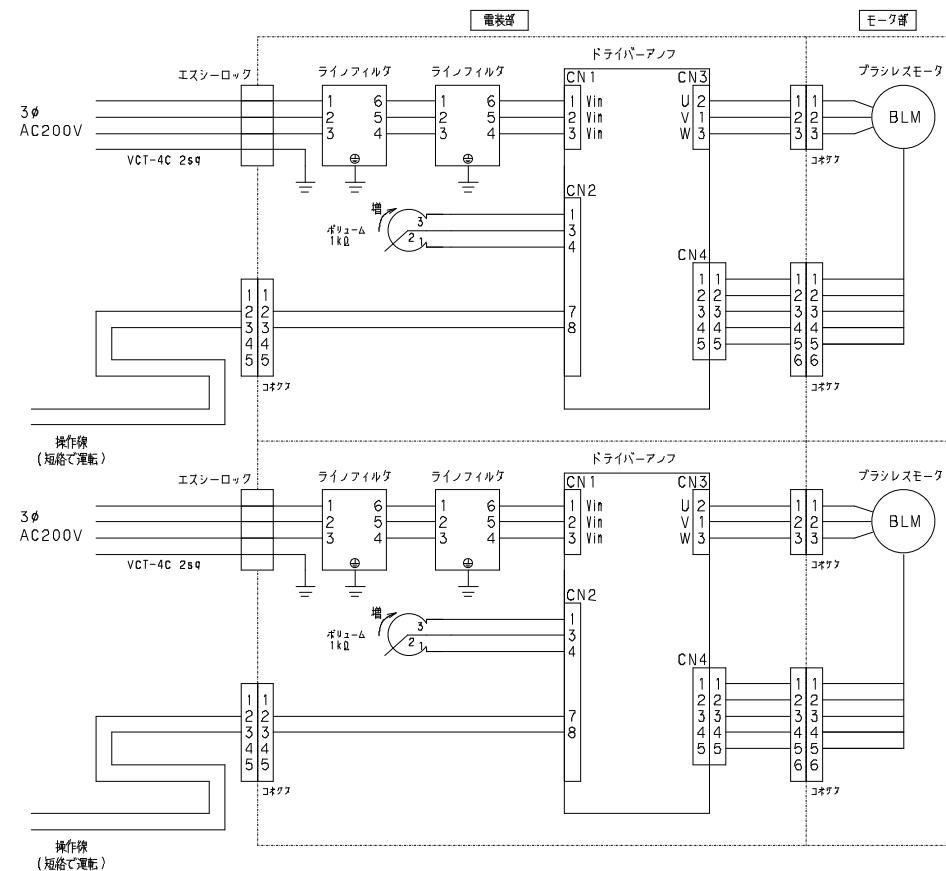
h)一般的使用で必要になると思われる予備部品のリスト

- ・特になし

i) 概略の配線図  
○TCS-DESIC-DS



○TCS-DESIC-DW



j) 歯科診療室に吸引システムを設置するための注意事項及び推奨事項

- ・本取扱説明書 P. 5 【医療用電気機器の安全及び危険防止の為の使用上の注意事項】参照。

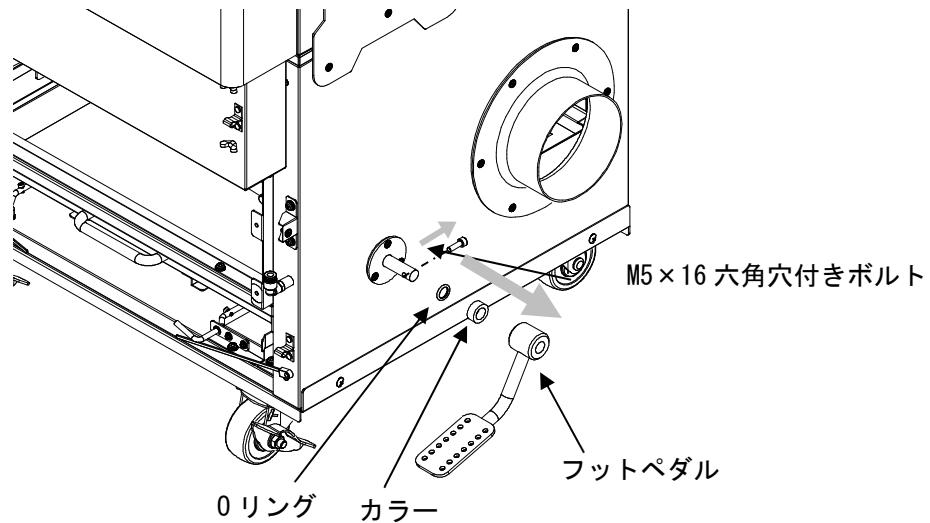
k) 該当する場合、指定される最低圧力  
該当せず

l) 吸引システムの吸引量 (大容量、中容量)、適用部位 [口くう (腔) 内用、口くう (腔) 外用]、構造 (自立式、セントラル方式など)

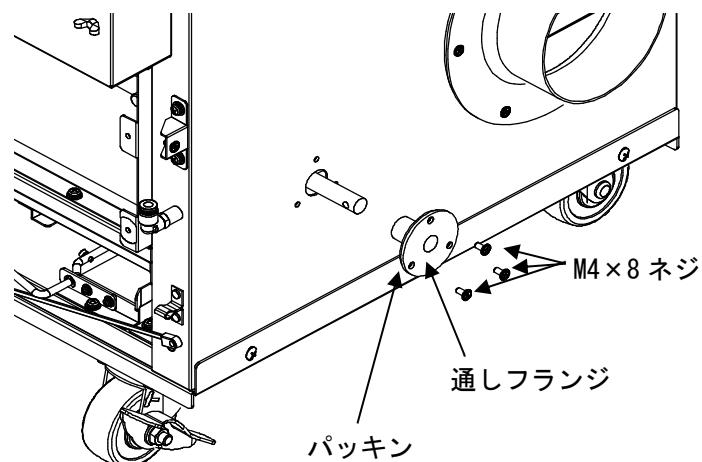
- ・適用部位：口腔外用
- ・構造：セントラル方式

## フットペダル左右付け替え方法

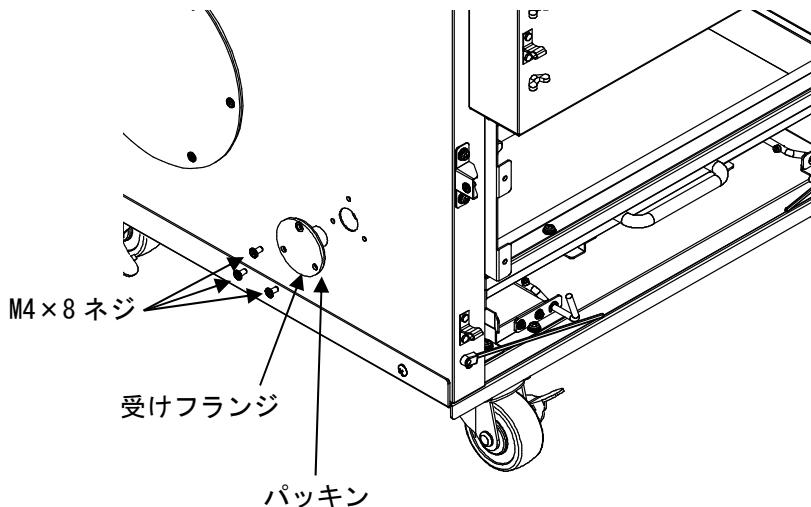
- ①取扱説明書 P. 14~15【着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)】を参照して、バッグフィルターを取り出してください。
- ②フットペダルを固定している M5×16 の六角穴付きボルトを外し、フットペダル・カラー・0 リングを外してください。



- ③通しフランジの M4×8 ネジ 3 点を外し、通しフランジ・パッキンを外してください。

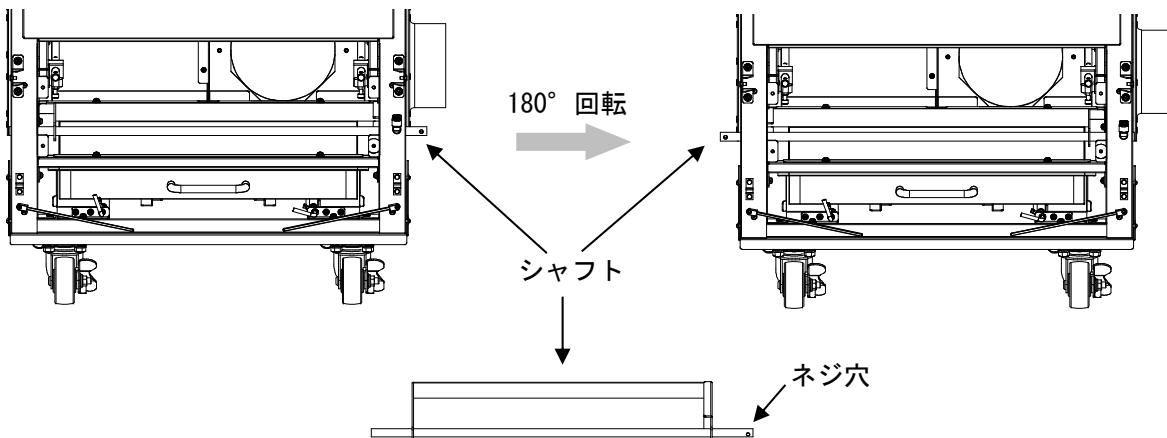


- ④反対側の受けフランジも同様に、M4×8 ネジ 3 点を外し、受けフランジ・パッキンを外してください。



## フットペダル左右付け替え方法

- ⑤両側のフランジを外した穴から出ているシャフトを取り出し、フットペダル固定用のネジ穴が左側に来るよう180°回転させてください。

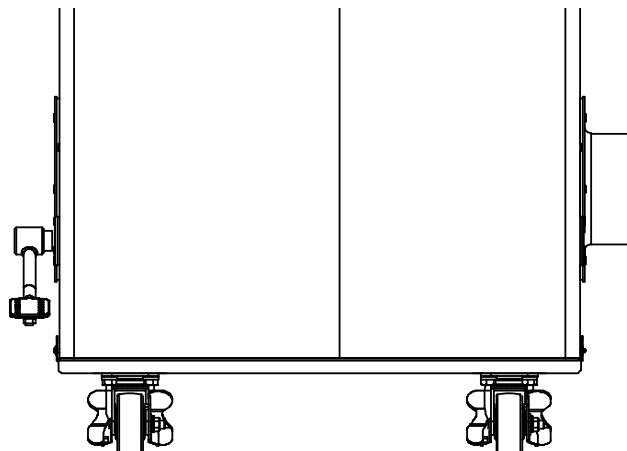


### ⚠ 注意



- 指示
- ・シャフトは無理に外さないでください。
  - ・板金側が奥側になるように、向きに注意してください。

- ⑥上記と逆の手順で左側にフットペダル、右側に受けフランジを取り付けてください。  
(左右付け替えた場合、フランジの色は筐体色と反転します。)



### ⚠ 注意



- 指示
- ・エア漏れが発生しますので、Oリングやパッキンのつけ忘れに注意してください。

## MEMO

## MEMO

## 保証書

本証書は、本証書に記載された製造番号（シリアル番号又はロット番号）の商品が、当社に於いて入念に製作し厳密な検査を完了して出荷されたものであることを証明し、かつ納入後1年以内に万が一発生した自然故障に対し、当社が無償修理の責任を負うことを保証するものです。

製品名 製造番号 (シリアル番号 又は ロット番号)	当社指定の製造番号が入ったシールを 貼付していないものは無効です
※ご住所	〒
※ご芳名	TEL ( ) 様
※納入日	年 月 日
保証期間	納入日より1年間
※販売店名	

※ご住所・ご芳名・納入日・販売店名の欄に記載がない場合は無効になります。

### 保証内容

- (1) 「正常な使用状態」において「**製造上の責任**」による故障について保証適用します。
- (2) 次の場合は保証期間中でも「**有償修理**」となります。  
(イ) 取扱説明書及び添付文書等に記載された注意事項・使用環境・使用方法  
・日常点検及び保守点検等を遵守しなかったことによる故障  
(ロ) 火災、地震等天災又は異常電圧等による故障  
(ハ) 保証書の所定事項の未記入、押印もれ、又は文字を勝手に訂正された場合等  
(ニ) 製品に付属している消耗品等
- (3) 保証期間経過後又は保証適用外の故障につきましても、**誠意をもって修理いたします**（実費修理となります）

歯科用セントラルサクションシステムの専門メーカー

 株式会社**東京技研**

URL: <http://www.tokyogen.com> E-mail: [TG@tokyogen.com](mailto:TG@tokyogen.com)

本社: 〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13  
TEL: 03-3703-5581 (代) FAX: 03-3705-1760

大阪支店: 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町59-5  
TEL: 06-6368-8877 FAX: 06-6368-8876

仙台営業所: 〒981-3112 仙台市泉区八乙女4-10-4  
TEL: 022-371-9651 FAX: 022-371-9653

名古屋営業所: 〒465-0007 名古屋市名東区坂1001  
TEL: 052-776-3355 FAX: 052-776-3356

福岡営業所: 〒812-0015 福岡市博多区山王1-15-7  
TEL: 092-411-0377 FAX: 092-411-0376

横浜工場: 〒224-0023 横浜市都筑区東山田4-42-37

※仕様は予告なく変更する場合がございます。